

二
一一四二 受信 一三三二七 譯了 一三四八 電 〇六三二〇 誅 通

局長	一課長	無春	山	赤	監所	一
A	B	C	D	E	F	〇
情報	着信	情報	着信	情報	着信	通

機密第一四一一五二番電

十四日〇九二八哨戒機一機ハアンダマン諸島東方ニ於テ小艦艇ヲ
發見攻撃命中彈ヲ浴セタル旨略語電ヲ發セリ。

通七二〇九 呂一Bラ十八 (一七五九〇K) 十通

月芳 (林部)

20. 2. 15

至急

二一五 受信 〇〇二〇三〇五 譯了 〇三五〇 電 〇〇六五九三〇 作 概



十二根戰團概報着信處所

機密第一四一二〇〇番電

二分ノ一二

一二根戰團概報

一〇一號哨戒艇及大發二隻(一〇機)大「ゴロ」島ニ對スル軍需品輸送任務行動中二月十三日一九五五大「ゴロ」島南方二〇哩附近ニ

於テB-12計五機ト交戦

(1)戰果 擊墜一機(不確實)擊破一

(2)被害 第一〇一號哨戒艇片破機故障浸水若干アリ戦死三重傷一名

(3)各艇荷揚終了「スチユバード」ニ向ケ歸投中

三右交戦敵機中三機ハ二〇三五「スチユワード」ニ來襲在船舶(九二

通七三九九
通七五三七

呂一五ヶ四(一七五九〇)六二三五(KC)十通

岑・田原(海卷)

20. 2. 15

式機雷敷設ノ為派遣中、安西丸（機帆船）東海丸（漁船）及大發一
隻（並ニ陸上砲臺ニ對シ反復銃撃ヲ加フ且港内ニ磁氣機雷ヲシキモ
ノ一二個投下

(イ) 戦果ナシ

(ロ) 被害 東海丸戦死一

二一四 受信一八七〇

譯了一八五〇 電〇六四四一

作機 ○

作戰緊急

三一分遣隊



第一航空艦隊P・ラオアゲ空基地。バタリナオ基地。アバリ連綴基地隊
ラボク各連綴基地隊。三一根P

大海參一部・聯合艦隊P・第一護衛艦隊P。高 警

機密第一四一二四四番電

20. 2. 15

南西方面艦隊電合作第二時

アバリ方面バタリナオ命令及サロマゲ。ラオアゲ方面所在海軍各部隊

（廳）二月十四日〇〇〇〇以後現地防衛ニ關シ第一〇三師團長ノ指揮下

ニ入ラシム

但シ轉進者ハ出發時迄トス。

第七三四五 天一〇ラ十一（一）三五七、五〇（一）五〇〇

機密 三

二 四
急

受信一五三一
開始一六〇七

譯了一六四八 電〇六四三〇 作概〇



東 通・聯合艦隊

高 警

支那方面艦隊 佐領・海軍各隊 沖根
二遣支艦隊 海南警 南西方面艦隊 航空艦隊

機密第一四一三〇四番電

20. 2. 15

空襲状況

- 一 一一五〇頃ヨリB-12四約二六B-12五約三八P-1四七約四〇P-1
- 三八約一〇 六群ニ分レ鷺變身南方ヨリ臺灣南部地區ニ侵入内一部
- ハ新竹基隆方面ニ北上セルモノノ如シ電波探信儀一二五〇ヨリ
- 一四二〇迄ニ逐次本島ヨリ脱去セリ
- ニ戦果ナシ詳細不明海軍側ナシ陸軍側嘉義旗山方面ニ若干ノ損害アル模様ナルモ詳細不明
- 三 特異事項最近連夜小數機ノ爆撃アリタルモノ一三、一三日夜間爆撃ナシ

通七三〇三 呂一Bラ一八(七五〇五K)高道 相澤(河田)

至急

二二
一四四

譯受譯
始信了

一六六一
六三五

譯了

一七一〇

電〇六四四〇

作概〇



聯合艦隊口・三航空艦隊口

横	部	A	L	平	部
部	隊	B	K	部	隊
				部	隊
				部	隊
				部	隊
				部	隊

機密第一四一三〇五番電

機密横須賀鎮守府信電令作第三九號

一、諸情報ヲ綜合ルニ敵機動部隊ハ數日前根拠地ヲ出撃セルコト略確實

ニシテ十五、十六日頃本土ニ來襲ノ算大ナリ

三十五日〇五三〇以降第二警戒配備甲トナセ

通七三一五 天二日ヶ六(日)横通 石島(イイダ)

20. 2. 15

二一四 受信一八二一 譯了一九四五 電〇六五四七 航作 本概〇

至急 小崗山司令部



東通・木空基地・新竹・小祿航空基地
厚木航空基地・第二鈴鹿航空基地

一三航空隊司令部

機密第一四一三〇七番電

發 第一航空艦隊參謀

宛 聯合艦隊 三AF 五AF 一〇一航空艦隊 各參謀

南西諸島空 上海空 臺灣空 第一〇〇一空 第一〇二一空

〇二二空 第一〇八一空

海軍第十三航空艦隊參謀

最近菲島方面敵機ノ臺灣來襲情況ニ鑑ミ内務臺灣間空輸送機等

ノ臺灣着陸機ハ二六三〇以テトナル如ク選定セラレ度敵機襲來時刻
七三七五 口二六三〇以テトナル如ク選定セラレ度敵機襲來時刻
安田一本田

20. 2. 15

概ネ一〇〇〇一四〇〇ニシテ來襲後一時間在空スルヲ常トス第一
 分遣隊輸送機ハ一應全部新竹ニ着陸第一〇二一司令部ノ指示ヲ得テ
 目的地ニ達スル如ク示達シ置カレ度

二一四 受信一六四九 譯了一六四五 電〇六四一五 作概〇航本

作戰 緊 急



海防五六。海防七四

東京通信隊。横通。父通。二三戰隊。九〇三航空隊

機密第一四一三二四番電

發 申直接該衛部隊指揮官

通報 横領參謀長 父島 根據地隊司令官 對潛學校 海上該衛參謀長
東京海部隊指揮官

電令作第一九號

五六海防艦及七四海防艦ハ直ニ追從シ對潛航空部隊指揮官ノ指揮下ニ入
リ機密横領電令作第三七號ニ依ルニ二一作戰ニ從事スベシ

通七三〇八 天二日ケ六(日)横通

大石(田中)

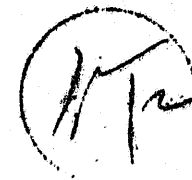
20. 2. 15

T

二一四 受信一六二〇 譯始一六四五 譯丁一七一五 電〇六四七三 作概〇

緊急 符

第一掃潛水部隊



東連三三根下三三根下二一航戰下二一航戰
聯合艦隊 第一特別基地隊

機密第一四一三二一海電

通報 大海 軍務局

先遣部隊電令作第三〇號

馬號第四三潛水艦ハ十五日吳出撃セブ島ニ對シニ式魚雷一〇同附屬品
並ニ治療品等ノ輸送ヲ實施シタル後比島東方海面ニ於テ敵補給路ノ攻
撃ニ任ズベシ。

通七三二〇 〇二Bラ十八(五二九五)六〇F 宮崎(鈴三)

20. 2. 15

二 一四 受信一五三〇 譯了一六〇〇 電〇六四一九 作概〇航本
譯始一五四五

緊急

三航空艦隊口・吳鎮

東京通信隊・松山、岩國、香取各航空基地
五航空艦隊口

機密第一四一三三六番電

通報 大本營海軍參謀部第一部 航空本部

聯合艦隊電令作第五一四號

一聯合艦隊電令作第四九〇號ニ依ル吳鎮 司令長官ノ第六〇一航空隊ニ對

テ乙航空隊ヘノ編入替ヲ準備セシムベシ

ニ第三航空艦隊司令長官ハ機宜第六〇一航空隊ヲ關東方面基地ニ配備スベ
シ但シ移動ニ際シ餘剩隊員ハ適宜基地員トシテ岩國基地ニ殘留セシメ追
テ乙航空隊ヘノ編入替ヲ準備セシムベシ

通七二八五 呂一〇ケ四一〇一聯合艦隊口

羽命(田中)

20. 2. 15

二 一四 受信一九二四 譯了二一二〇 電〇六五六六 航作概本〇
譯始二〇一八

緊急

第一機動基地航空部隊

鹿屋航空基地

大海參一部。聯合艦隊口。一、三各航空艦隊口



機密第一四一四三四番電 二分ノ一、二

一 K P G B 信電令作第八號

一、一四〇〇以後彩雲隊ノ索敵觸接待機並ニ攻撃隊ノ攻撃待機ヲ解ク

二、明十五日各隊ハ左ニ依リ作戰スベシ

(イ) 〇區晝夜間哨戒既令ノ通(晝間哨戒發進時刻〇八三〇)

(ロ) K五〇一銀河爆裝約十八機〇〇〇以後攻撃三〇分間待機トシ夜

間哨戒ニ對黎明索敵特攻攻撃敢行

(ハ) 殘餘攻撃隊日出一時間前ヨリ攻撃(避退第一配備)十五分間待機

(ニ) 彩雲隊ハ日出一時間前船團索敵觸接十五分間待機

(四) 戰鬥機隊ハ日出三〇分前ヨリ一〇〇〇迄攻撃即時待機別法 爾後

通七四二二

呂一ケ四

(三八〇三五)佐

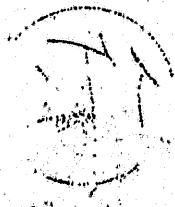
鹿屋空基地

菅原

(金森)

()

20. 2. 15



陸軍部
陸軍大臣

(一)

(二)

(三)

指揮官所定ニ依リ、夜時迄即時待機

一、A、B、時取隊、日出時〇〇〇〇迄攻撃即時待機別法

二、〇〇〇〇以迄深夜迄、攻撃隊待機

三、〇〇〇〇以迄深夜迄、攻撃隊待機

四、〇〇〇〇以迄深夜迄、攻撃隊待機

五、〇〇〇〇以迄深夜迄、攻撃隊待機

六、〇〇〇〇以迄深夜迄、攻撃隊待機

七、〇〇〇〇以迄深夜迄、攻撃隊待機

八、〇〇〇〇以迄深夜迄、攻撃隊待機

九、〇〇〇〇以迄深夜迄、攻撃隊待機

意

理
文部
武(二)部
第一二二二〇
〇〇六六六六

二 一四 受信一六四四 譯始一七〇〇 譯了一七二五 龍〇六四五八 作概〇

作戰緊急

● 佐 鎮 部 隊

● 佐

鎮



● 聯合艦隊司令部・横鎮・第五航空艦隊司令部・鎮警・高警・吳鎮・二五航空隊・？

機密第一四一五二八番電

20. 2. 15

左鎮電令作第二五號

一 敵機動部隊其ノ後ノ動靜不明ナルモ愈々警戒ヲ要ス

二 佐世保方面部隊ハ明十五日〇五〇〇ヨリ第二警戒配備トナセ但シ艦

艇ノ疎開ハ特令ニ依ル爾餘ノ各部隊ハ指揮官所定ニ依リ警戒ヲ嚴ニ

セヨ

通七三三〇 十三八五二〇〇KG 佐通

山本(鈴三)

0211

人

緊急

二一四

受信一九八〇〇六

譯了二〇一〇 電〇六五〇四

航作 本概〇

木更津航空基地



七基地航空部隊作戰命令着信鑑所

機密第一四一五四三番電

第七基地航空部隊電令作第二九號

一、明十五日〇五〇以後第一警戒配備トナセ

二、明十五日左ニ依リ狀況詳細報告スベシ

(1) S 九〇一丙戰五機〇五三〇發進基點藤枝基地航路一七〇度一八〇

度一九〇度一五九度二一〇度進出距離三〇〇哩右折三〇哩呼出符

號「ミノ一五」

(2) K 七〇四陸攻四機〇六〇〇發進E二六・二八・三〇・三二進出距

離六〇〇哩左折六〇哩

三、使用電波七六三五主用七〇三七K補用。

通七三八三 呂一Bラ十八(B)木空 譯了

20. 2. 15

二一五 受信〇三四〇

電〇八五八五 作 概



海 護 總 口
大 總 長 臣

共 符

機密第一四一六一三番電

發 GEB司令長官

二月十四日侍從武官今井海軍中佐ヲ當部ニ御差遣有難キ聖旨令旨ヲ
拜ス

右傳達ス

聖旨

海上護衛司令長官以下一同ガ苛烈ナル戰局下克ク困難ナル海上交通
ヲ保護並ニ對潛作戰ニ任ジ大東亞戰爭目的達成ニ努メツツアルハ深

通 一八六八 一八六九 天二Bケ三
一八七〇 一八七一

(松山) (1)

20. 2. 19

ク苦勞ニ思フ 海上交通保護並ニ對潛作戰ノ成果ガ戰局ノ前途ニ及
 ボス處甚大ナルモノアルニ鑑ミ各員益々自重自愛シテ重責ノ完遂
 ナ期シ一層奮勵努力カシテ其ノ本分ヲ完ウスル様申傳ヘヨ
 令旨

海上護衛司令長官以下一同ガ重大ナル戰局ニ處シテ困難ナル職務ニ
 挺身シテ其ノ重責ヲ果シツツアルハ洵ニ苦勞ニ思フ殊ニ君國ノ爲
 職務ニ瘞レタル者ニ對シテハ氣ノ毒ニ堪ヘズ 戰局愈苛烈ノ際各自一
 層自愛シテ奉公ヲ勵ムヤウ尙傷病者ハ厚ク勞ハリ遣ハセ

二 本職隊員一同ヲ代表シ只今優渥ナル

聖旨

令旨ヲ拜シ恐懼感激ノ至ニ勝ヘズ重大ナル戰局ニ際シ益々部下ヲ督
 勵シ殊死奮戰一意作戰目的ノ達成ニ勞メ誓ツテ聖旨ニ副ヒ奉ランコ
 トヲ期スル旨奉答セリ。

人

二一四 受信一九八五〇 譯了二〇〇〇 電〇六五〇七
作航練 本機空

緊急



● 松山航空基地
● 東京通信隊・第三航空艦隊
● 第五航空艦隊 戸・吳 鎮
機密第一四一六五〇番電

發 聯合艦隊參謀長

宛 第三四三航空隊司令

通報 大海參一部長 航本總務部長・練習聯合航空總隊司令官

松山基地機密第一二一一二七番電關聯

戰團第四〇一飛行隊戰團第四〇二飛行隊ノ分遣基地ハ第六〇一航空隊

ノ香取轉進ニ伴ヒ岩國基地使用ヲ適當ト認ム 但シ岩國基地ニ於テ案

電ノ使用不適トスル場合ハ一時徳島基地ヲ使用シ觀音寺基地完成ヲ俟

ツテ之ニ移動右ノ案ニ就キ現地調査ノ上所見至急返

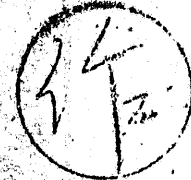
通七三八八 呂一Bケ四 (B) G P 宮崎 (様) 澤 ()

8411

30. 2. 15

Handwritten mark resembling a stylized '4' or '5' with a diagonal slash.

至 一四 受信一九三五 誤了二一〇〇 電〇六五四〇
急 〇〇六五〇六 作 概



七基地航空部隊戰鬪概報等 所

機密第一四一六五九番 二分、二

二空軍部隊戰鬪概報第一七〇號(二月十四日)其ノ二

一四)一〇五〇 一六〇度二七五斤及二八八斤ニ編隊探知零戰三機ヲ以

テ邀撃一二〇〇B一三四 九機地熱ヶ原玉山及南部落一二〇五

B一三四 八機北地區ニ投彈南方ニ遁走セリ

(ロ)戰果ナシ

(ハ)被宰兵舎大破一幕僚室半壞

(ニ)發射彈數(一門平均保有彈數)十二輝高角砲六〇(一一二)七

五輝野戰高角砲一二(五一)一

三明日會勳機數零戰三機天山一機

浦七三九〇

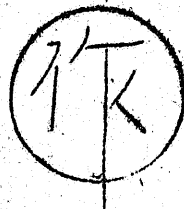
丹一Bケ四(B

大更津航空基地

淺川 水澤(庭 田)

20. 2. 15

二一四 受信二二〇四 譯了二二二五 電〇六六一二 航作 本概〇
 作戰緊急



● 一機動基地航空部隊
 ● 鹿屋航空基地
 ● 大海參一部・聯合艦隊口・第一航空艦隊・第三航空艦隊口吳 鎮

機密第一四一七一五 番電

八〇一空信電 令作第四號

一 K F G B 信電令作第六號ニ依リ十五日Q區夜間哨戒四機左ニ依リ之ヲ實施ス

一 基點都井岬

二 基點發進時刻十五日〇〇一五

三 索敵第十三法一番線一五八度 二番線一四三度 三番線一七三度

通七四六五 呂一Bヶ四(三八〇三五KC) 鹿屋空 半澤(森田)

20. 2. 15

四番線一二八度各線共働程着折六〇哩進出距離四〇〇哩先端到達

時刻〇三三〇

四使用機種一・二番線二式大艇三・四番線一式陸攻。

(二)

二
一四 受信
一五 開始 〇〇一五三〇

譯了 〇一三五 電 〇六五七七

作 機 〇

至 急

木更津航空基地



第三航空艦隊 聯合艦隊 口・東一空襲部隊
軍司令部・人事局・航空本部・一〇一航空戦隊

機密第一四一七四三番電

發 第三航空艦隊參謀長

E一A Bヨリ五A Bニ編入サレタリ飛行隊ノ進出機數及地上員員數

ヲ左ノ通豫定ス(飛行隊・機數・高整・普整・高兵・普兵) S三一

一・二〇機一五・一五・六・一三K一〇五・二四機・二七・二七・

・五・一四K二五一・二四機・一五・二一・三一・一〇但シ敵機動部

隊ガ九州南西諸島方面ニシテ來襲セル場合ハK三一・三六機・二

〇・三機・六・二〇K一〇五・三六機・二七・二七・五・二二K二

五・三機・一機・一九・三五・四・一八。

通七四八四 呂一Bヲ十八(B)木更 吉田(森・田)

20. 2. 15

457

K

作戰要旨

二 一四 受信二二三六
一五 開始〇〇〇〇
了〇〇二〇 電〇六五八五 作機〇



九〇一航空隊。一航空機隊。中隊作戰部隊
聯合機隊

機密第一四一七五二番電

發 第四航空機隊司令部

當隊十二日夜以來終始敵機ノ襲撃ヲ受ケツツアリ 遺憾ナル敵機ヲ一〇
機。

通七五一七 日一〇分四 (四〇四五) 高橋 村尾 (松井)

20. 2. 15

人

至 二 一 五 急

受信 〇〇三〇〇

譯了 〇三四〇

電 〇八五五六

連航作 概 本本〇



東 通

東 通・横 通・阪 通・五〇海防艦・串本航空基地

九〇三空ト・九〇三空濱島派遣隊・東京湾北部隊ト
小松島空・紀州部隊・熊野灘部隊ト・大井空・伊勢湾部隊ト

機密第一四一八〇三番電 二分ノ二

通報 海上護衛參謀長 大海參一部長 横鎮長官
指揮官ハ船團護衛ニ支障ナキ範圍ニ於テ航空機成ルベク多數ヲ同期
間大阪海面對潛航空部隊指揮官ノ指揮下ニ入ラシムベシ。

〔電信課註 本電二分ノ一 既配布〕

〔東 通註 再送要求ノ爲遲延〕

通七五八〇

天二Dケ六

B

横通

出原(杉本)

20. 2. 19

Handwritten mark at the top right corner.

二 一四 受信二三五九 譯了〇一五五 電〇六六〇一 作標〇
譯始〇〇三〇 航本

緊急



- 一 護衛艦隊F・九〇一空 (東港空基地)
- 二 南號作戰部隊
- 三 九〇一空 (高雄空基地)

機密第一四一八二五番電

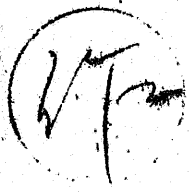
20. 2. 15

- 一 北號部隊護衛 陸攻一機一二一五ヨリ一三〇〇迄一三二一位置北緯
- 二 一度四二分東經一一三度四〇分針路三〇度速力二〇節
- 三 明日ノ豫定北號部隊護衛陸攻延二機〇八〇〇ヨリ一七〇〇迄
- 三 使用可能機誘導一式陸攻一機九六陸攻一機

通七五二一 天一Bヶ四 (四五七二、五) 高二放

内山 (庵原)

二 一回 受信二二三〇 譯了二三三五 電〇六五八八
 譯始二二四五
 作戰緊急 横 鎮 航作概〇



横鎮對潛航空部隊・佐鎮・吳鎮・横鎮・東京灣部隊・横空
 東 通・横 通・二三戰隊・第三航空艦隊

機密第一四一八五〇番電

20. 2. 15

宛 海軍對潛學校 東京灣北航路部隊司令官

通報 大 海・聯合艦隊長官・海上護衛總司令部・小笠原部隊司令官

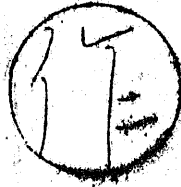
機密横鎮電令作策三七號中左ノ通訂正ヒラル

第四項ヲ第五項トシ以下順次繰下第四項トシテ左チ加フ

四横須賀航空隊司令ハ飛行機隊へ派遣機數ハ横空司令所定ニテ館山ニ
 派遣第一項作戰期間中對潛航空部隊指揮官ノ指揮下ニ入ラシムベシ。

通七四八二 口一Bケ四 (B) 横通 村松 (鈴 三)

g



二
一
五

受信
一三〇〇

譯了
一三三八

電
〇六八一八

概

急



二

六

航

戰

作

クラーク防備部隊海軍艦報着信艦所

機密第一四一八五四番電

LBK 戰艦報第一七號 (二月十四日)

一、戰線著變ナシ昨日及本日第十四戰區前方ニ進出シ來レル敵ニ對シ

歩兵砲ヲ以テ攻撃數十名ヲ粉碎擊退セリ

三、本日來襲機PI五一・一七PI四七、一八計三機發射機發着

五機

通七七六三

呂一Bラ十八(一一三四七、五KG)五PAB放

菅原(補)

20. 2. 16

二 一 四 受信二一五七 丁二三三〇 電〇六五九六 航作 稿本〇

作戰緊急

高

警



東 洋 連 合 軍 隊 戸
一 航 空 隊 上 梅 部 隊

機密第一一九九二番電

20. 2. 15

本十四日一一五〇ヨリ一六三〇ノ長時間ニ互リ戦艦機ヲ主隊トス 敵戦
爆聯合約一一〇機ハ殆 ド攻撃スルコトナク臺中臺南高雄州上空ヲ制壓
セリ

斯カル多數機同時ノ侵寇ハ極メテ特異事象ニシテ呼出符號ニ依ル敵第七
艦隊ノ動靜竝ニ「ウルシー」出張部隊動向トモ露徹底的臺灣制壓ヲ企
圖シアルヤニ思考セラル

通七四七四 呂一〇 (四五七二五〇) 高放 西村(吉田)

作戰緊急

二一五 受信 一九二〇 譯了 二〇三〇 電〇六九九二 作概〇

作

◎ ◎
? ?

〔通報表示〕 南西方面部隊情報着信艦所

機密第一四二〇〇〇番電

發 四大隊

通報 振武

本日一一〇〇敵戰車及歩兵約一個中隊方タルへ附近ニ來襲セリ
田中少尉ノ指揮セル一個小隊ハ勇戰激闘手投圓推彈多敷ノ
テキニ依
リ戰車二輛擱坐セリ。

通八〇六二 才一三(九一四五〇)高二放 櫻井(小川)

20. 2. 16

二一四 受信二一四〇〇〇 電〇六六四七 作概〇
譯始二一五五

緊急

小笠原部隊

小笠原部隊

横須賀鎮守府

機密第一四二〇〇三番電二分ノ二

サイパン南西海面ヨリ北西進中ノ水上艦艇大群アリ更ニ確認ノ要アルモ此ノ儘直進スルトキハ十六日未明硫黄島近海ニ最近接スル見込ナリ

各隊ハ警戒ヲ嚴ニスルト共ニ一應現狀ヲ以テ速ニ激撃戰闘準備ヲ完成スベシ

四緊急戰備作業ハ尙續行スルモノトス

一電信課註 本電二分ノ一未着

通七四七〇

呂一Bヶ四(五一)〇KC) 父島通

奥山(酒巻)

20. 2. 15

作戰緊急

二 一 五

受信開始 〇〇一四六

譯了 〇二一一 電 〇六六五九

航作本機 〇

九 〇 三 空 〆

九〇三空大井派遣隊・五六、七四各海防艦

大警・横領・阪警・第三航空艦隊 〆・父根 〆・二三戰隊 〆
對潛學校・横防戰 〆・?

機密第一四二一〇二番電

二十一日作戰部隊電令作第一號

明十五日各隊左ニ依リ作戰準備ヲナシ置ケ歸艇一七〇〇以後一〇節
即時待機航空部隊（本隊陸攻一機攻二零水三 八丈島派遣隊艦攻二
串本派遣隊零水三）。

通七五七五

B

須賀

清水（森

日）

20. 2. 15

人

緊急

二一九 受信一三四〇〇 譯了〇五一五 電〇六六八二 謀

△情報着信艦所・南號作戰部隊・四航戦ト

機密第一四二一一〇番電

20. 2. 15

△情報(十四日) 既ニ切迫シアル敵策動ノ指向性ハ漸次NR方面ニアル兆顯著トナリツツアリ

(イ) 敵機動部隊ハ概ネ十二日前後PU乃至PSA方面ヲ出撃既報ノ如ク南部NK・NR方面ニ來襲スル算大ナリ

(ロ) 既報十日以降PSA所在ニ一ニ九ノ實施セル哨戒ハ其ノ發信電

報解讀ノ結果味方哨戒線ヲ綿密ニ偵察セルモノノ如シ太平洋 潜水部隊指揮官右電報ヲ着信シアルハ特異ニシテ敵潜水艦ノ味

方哨戒線破壊ノ企圖顯著ナリ

(ハ) 攻軍部隊ノ動向ハ未ダ斷定シ侍アルモ出撃直前ノ狀況ニ依リ

迎七六〇七 呂一四ラ十八(一) 大和田 相澤(一)見(一)

(一) 攻略部隊指揮官同綴名符ノ算アル所各々六日十二日以降出現シ其
ノ通信極メテ緊迫化シ機動部隊トノ關聯特ニ密接ナリ。

ト

二一五 受信〇三四八 譯始〇四一〇

譯了〇六一五

電〇六六七五 〇六七四

航作概本〇

緊急

鹿屋航空基地

作

聯合艦隊

大海參一部・一航空艦隊尸・三航空艦隊尸

機密第一四二二二七番電

三分ノ二

發 第一機動基地航空部隊指揮官

當部隊本十四日二八〇〇三於ケル作戰可動兵力配備左ノ通(飛行隊)

實動機數・配備基地ノ順

一・一四・鹿屋 攻擊第二六二飛行隊・一六・築城 七・宮崎

攻擊第五〇一飛行隊・二七・宇佐・九・鹿屋 七・一〇・太刀洗

二七・宮崎・九八〇・一三・太刀洗・一三・鹿屋・七・一〇・太刀洗

宇佐・霞ヶ浦・宮崎・七七一・一五・神ノ池・一〇出水築城

通七五八九

呂一〇ケ四(三八〇三・五・五・五) 鹿屋航空基地

×六〇

(一)

20. 2. 16

- 8 三〇五・二八・鹿屋・8・三〇六・8 三〇七・六二・宮崎・五七〇
- 三・一一・鹿屋・八・太村・六・濟州・飛行艇・五・鹿泉島三・諮問
- 一・横濱・水偵・八・諮問

〔電信課註 本電三分ノ三未着〕